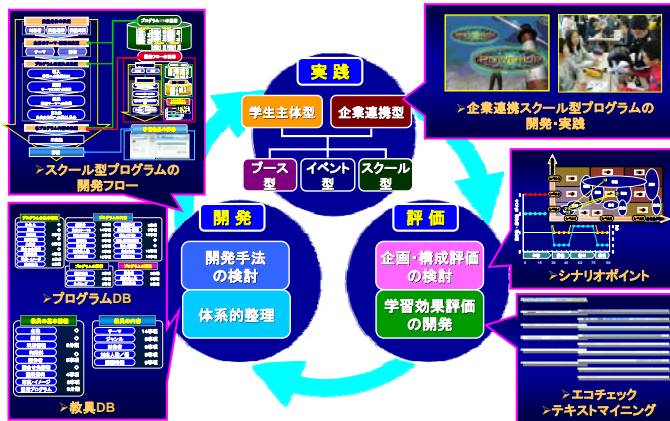


新たな環境配慮型都市の開発に関する包括的研究

題目	実践的な環境学習プログラムの開発と地域密着型CSR対応に関する研究 ～グリーンコンシューマー育成のための環境学習プログラムの開発とその評価～
著者	永田勝也、小野田弘士、塩田真吾、金子幸平、杉田大亮

目的

- ▶ 環境学習プログラム・教具DBを構築し、環境学習の体系的整理を行ない、両者の連携を図る。
- ▶ グリーンコンシューマー育成を目指し、企業連携を主とした環境学習プログラムを展開する。
- ▶ 学生主体型プログラムの開発・実践を通じ、実施側初心者のための支援システムを検討する。
- ▶ 環境学習プログラムの企画・構成および学習効果の評価手法の高度化を行なう。



2008年度の研究方針

プログラム開発フローの改善



プログラム開発フロー

企業連携プログラムの開発・実践

- ▶ 企業連携型教具として、エコライフゲーム・プロダクトライフゲームを開発し、小学校などでの展開を図った。
- ▶ 大手グローバルITシステム系企業と連携したプログラムの共同開発・実践を行なった。



エコライフゲームの様子



企業連携プログラムの様子

プログラムDBおよび教具DBの整備・拡充

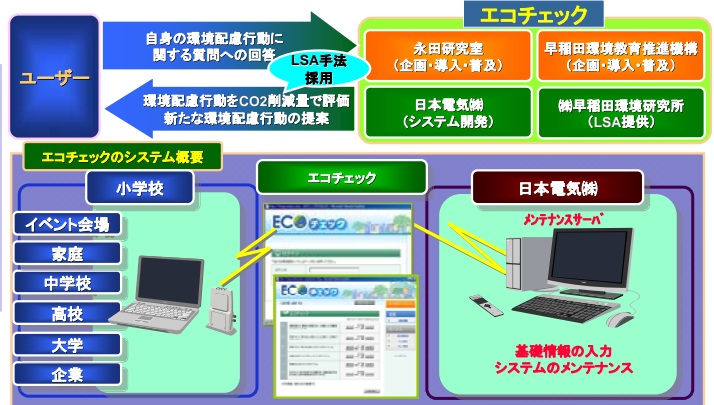
- ▶ プログラムDBでは、フォーマットを整備するとともに、企業がCSR活動として実践する環境学習プログラムを主として105事例を収集した。
- ▶ 新たに教具DBを構築し、合計59事例を収集し、プログラムDBとの連携を図った。



プログラム・教具DBのフォーマット

- ▶ 従来の開発フローに教具DBの活用を追加した。
- ▶ アイデアの洗い出しや流れの支援手法としてアイデア・シナリオシートを開発・導入した。

プログラム評価手法の開発・高度化



エコチェックの概要

- ▶ 企画・構成を評価するシナリオポイント、学習効果を評価するエコチェック、それぞれの開発・改善・検証を行った。